

将来の在り方 検討内容	令和3年度（2021年）				令和4年度（2022年）			
	4～6月	7～8月	9～12月	1～3月	4～6月	7～8月	9～12月	1～3月
① 医療提供体制	市立病院で検討			関係機関との協議	★方向性決定			
② 再編・ネットワーク化	市立病院で検討			関係機関との協議				
③ 経営形態の見直し	市立病院で検討			関係機関との協議				
④ 老朽化対策	配管設備劣化診断を踏まえ、市立病院で検討			関係機関との協議				
※ 新病院改革プランの策定	①～④の検討は、新病院改革プラン策定に合わせて行っていくものです。 なお、総務省から示される「新公立病院改革ガイドライン」の策定が遅れる場合は、上記スケジュールも遅れる可能性があります。							

① 医療提供体制	地域医療構想等を踏まえた医療提供体制（重点診療領域、病床数、病床機能等）について検討します。
② 再編・ネットワーク化	地域全体で必要な医療サービスが効率的に提供されるよう、再編・ネットワーク化の可能性を模索するとともに、地域における医療連携の在り方について検討します。
③ 経営形態の見直し	地方独立行政法人や指定管理者制度のメリット・デメリットを明らかにし、その可能性について検討します。
④ 老朽化対策	令和3年度に配管設備劣化診断等業務委託を行い、築37年が経過する市立病院の配管の更新について概算工事費の調査等を行った上で新築費用と更新費用の比較を行い、抜本的な対応について検討します。